



## 安全データシート

Page 1 of 13

LOCTITE 225 known as 225 50mL EN/CH/JP EAN

SDS No. : 153491

V001.10

ヘンケルジャパン株式会社

改訂: 15. 04. 2025

発行日: 20. 04. 2025

### 1. 化学物質等及び会社情報

製品コード : 830807  
製品名 : LOCTITE 225 known as 225 50mL EN/CH/JP EAN

推奨される用途 : ねじロック剤

会社名 :  
ヘンケルジャパン株式会社  
東京都品川区東品川2-2-8  
スフィアタワー天王洲 14F  
140-0002  
電話番号 : +81 (45) 758-1800

### 2. 危険有害性の要約

GHS分類 :

危険有害性クラス	危険有害性区分	標的臓器
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	区分 2	
特定標的臓器毒性 - 単回暴露	区分 3	気道刺激性
水生環境有害性 短期 (急性)	区分 3	
水生環境有害性 長期 (慢性)	区分 3	

GHSラベル要素:

絵表示:



注意喚起語:

警告

ヘンケルジャパン株式会社

<b>危険有害性情報:</b>	H319 強い眼刺激。 H335 呼吸器への刺激のおそれ。 H412 長期継続的影響により水生生物に有害。
<b>安全対策</b>	P261 ミスト/蒸気の吸入を避ける。 P264 取扱い後はよく手を洗うこと。 P271 屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。 P273 環境への放出を避けること。 P280 眼保護具/顔面保護具を着用すること。
<b>応急措置:</b>	P304+P340+P312 吸入した場合: 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。気分がわるいときは医師に連絡すること。 P305+P351+P338 眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。 P337+P313 眼の刺激が続く場合: 医師の診断/手当てを受けること。
<b>保管:</b>	P403+P233 換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。 P405 施錠して保管すること。
<b>廃棄:</b>	P501 廃棄するときは、適用法令、及び製品特性に従い、適切な処理・廃棄施設に内容物/容器を廃棄すること。

製品ラベルの有害性情報は、個別の安全データシートの記載内容と異なる場合があります。

### 3. 組成、成分情報

単一製品・混合物: 混合物

#### 危険有害成分及び濃度

成分 CAS-No.	wt%	GHS分類
---------------	-----	-------

ヘンケルジャパン株式会社

二酸化ケイ素 (アモルファス) 112945-52-5	>= 1 - < 10 %	
キュメンヒドロパーオキシド (1-メチル-1-フェニルエチルヒドロパーオキシド) 80-15-9	>= 2.5 - < 3 %	引火性液体 4 H227 有機過酸化物 E H242 急性毒性 4; 経口 H302 急性毒性 2; 吸入 H330 急性毒性 4; 経皮 H312 皮膚腐食性 1B H314 特定標的臓器毒性 - 単回暴露 3 H335 特定標的臓器毒性 - 反復暴露 2 H373 水生環境有害性 短期 (急性) 2 H401 水生環境有害性 長期 (慢性) 2 H411
ポリエチレングリコールモノメタクリレート 25736-86-1	>= 1 - < 2.5 %	水生環境有害性 短期 (急性) 3 H402
N, N-ジエチル-p-トルイジン 613-48-9	>= 0.25 - < 1 %	引火性液体 4 H227 急性毒性 3; 経口 H301 急性毒性 3; 吸入 H331 急性毒性 3; 経皮 H311 皮膚刺激 2 H315 特定標的臓器毒性 - 反復暴露 2 H373 水生環境有害性 短期 (急性) 3 H402 水生環境有害性 長期 (慢性) 3 H412
N, N-ジメチル-o-トルイジン 609-72-3	>= 0.1 - < 0.25 %	引火性液体 4 H227 急性毒性 3; 経口 H301 急性毒性 3; 吸入 H331 急性毒性 3; 経皮 H311 特定標的臓器毒性 - 反復暴露 2 H373 水生環境有害性 短期 (急性) 3 H402 水生環境有害性 長期 (慢性) 3 H412

労働安全衛生法の通知対象物質の濃度が幅表示の場合は、営業秘密である場合を含みます。

#### 4. 応急処置

皮膚にかかった場合：

流水とせっけんでよく洗い流すこと。  
医師の診察を受けること。

ヘンケルジャパン株式会社

眼に入った場合：	直ちに大量の水で15分以上、まぶたを指で開いて洗い流すこと。医師の診察を受けること。
飲み込んだ場合：	口をすすぐこと。水を1-2杯飲ませること。無理に吐かせないこと。医師の診察を受けること。
吸入した場合：	新鮮な空気のある場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。医師の診察を受けること。

## 5. 火災時の措置

消火方法：	火災が発生した場合、泡沫消火剤か粉末消火剤を使用すること。
適切な消火剤：	二酸化炭素、泡、粉末
火災時の特有の危険有害性：	セクション10を参照。
消火活動を行うものの特別な保護具及び予防措置：	自給式呼吸器および出動服の様な全身保護服を着用すること。

## 6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置：	皮膚および眼への接触を避けること。
環境に対する注意事項	下水管に流さないこと。
封じ込め及び浄化の方法及び機材：	少量の場合紙タオル等で拭き取り、廃棄用容器にて保管すること。 大量の漏洩に対しては、不活性な材質のものに吸収させ廃棄するまで、密閉できる容器に保管する。

## 7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い 安全取扱い注意事項	よく換気された場所で使用すること。 皮膚および眼への接触を避けること。 感作の危険を防ぐため長時間若しくは、繰り返しの接触は避けること。 適切な保護服、手袋および眼／顔面保護具を着用する。 取扱い後は十分に洗うこと。 ガス/ヒューム/蒸気/スプレーを吸入しないこと
保管： 安全な保管条件：	技術資料を参照すること。

ヘンケルジャパン株式会社

## 8. 暴露防止及び保護措置

### 管理濃度

#### 日本 許容濃度等

JPISHL OEL

安衛法：作業環境評価基準で定める管理濃度

JPJSOH OEL

日本産業衛生学会：許容濃度

JP NOEL

安衛法：化学物質による健康障害防止のための濃度の基準（濃度基準値設定物質）

成分【規制物質】	ppm	mg/m <sup>3</sup>	値型	短期暴露限界カテゴリー/備考	Regulatory list
二酸化ケイ素（アモルファス） [土石, 岩石, 鉱物, 金属又は炭素の粉じん]		0.025	管理濃度:	ばく露限界値は100%遊離シリカの値を用いて方程式 $3.0/(1.19 * (\%遊離シリカ) + 1)$ により算出されている。遊離シリカのパーセンテージが低いほどばく露限界値は高くなる。	JPISHL OEL

### 管理濃度

#### 参考

成分【規制物質】	ppm	mg/m <sup>3</sup>	値型	短期暴露限界カテゴリー/備考	Regulatory list
二酸化ケイ素（アモルファス）		3	時間加重平均（TWA）:		ACGIH
二酸化ケイ素（アモルファス）		10	時間加重平均（TWA）:		ACGIH

### 設備対策:

しっかりした換気/排気を確保すること。

### 保護具:

**呼吸用保護具:** 換気の良い場所でのみ使用すること。

**手の保護具:** 適切な保護手袋

**眼の保護具:** 保護眼鏡を着用すること。

**皮膚及び身体の保護具:** 適切な保護服を着用すること。

## 9. 物理的及び化学的性質

物理的状态:	液体	色:	茶色
pH:	該当なし, 混合物は非極性/非プロトン性です。	臭い:	特徴的な
沸点:	> 150 °C (> 302 °F)	融点:	該当なし, 製品は液体
蒸気密度:	> 1	密度:	1.0800 g/cm <sup>3</sup>
		蒸気圧:	データ無し/対象外

ヘンケルジャパン株式会社

引火点:	> 100.0 ° C (> 212 ° F)		
	100°Cまでは引火点なし		
爆発範囲 (下限):	データ無し/対象外	爆発範囲 (上限):	データ無し/対象外
水への溶解度	データ無し/対象外	粘度:	> 20.5 mm <sup>2</sup> /s
自然発火点:	データ無し/対象外	可燃性:	データ無し/対象外
オクタノール/水分配係数	データ無し/対象外	分解温度:	データ無し/対象外
粒子特性	データ無し/対象外		

## 10. 安定性及び反応性

安定性:

反応性:

酸化剤  
還元剤  
酸  
ラジカル開始剤

避けるべき条件

通常の使用、保管条件では安定。

危険有害な分解生成物:

刺激性の有機蒸気。  
炭素酸化物

## 11. 有害性情報

ヘンケルジャパン株式会社

一般毒性情報: 動物実験検査データなし。

### 11.1. 毒物学的影響情報

急性毒性（経口）:

混合物は、混合物に存在する分類された物質を基に分類する計算方法に基づいて分類されている。

有害物質	値型	値	種	試験方法
二酸化ケイ素（アモルファス）	LD50	> 5,000 mg/kg	ラット	OECD Guideline 401 (Acute Oral Toxicity)
キュメンヒドロパーオキサイド（1-メチル-1-フェニルエチルヒドロパーオキシド）	LD Lo	5,000 mg/kg	マウス	
キュメンヒドロパーオキサイド（1-メチル-1-フェニルエチルヒドロパーオキシド）	LD50	382 mg/kg	ラット	other guideline:
ポリエチレングリコールモノメタクリレート	Acute toxicity estimate (ATE)	> 5,000 mg/kg		専門家の判断
N,N-ジエチル-p-トルイジン	Acute toxicity estimate (ATE)	100 mg/kg		専門家の判断
N,N-ジメチル-o-トルイジン	Acute toxicity estimate (ATE)	100 mg/kg		専門家の判断

急性毒性（経皮）:

混合物は、混合物に存在する分類された物質を基に分類する計算方法に基づいて分類されている。

有害物質	値型	値	種	試験方法
二酸化ケイ素（アモルファス）	LD50	> 2,000 mg/kg	ウサギ	OECD Guideline 402 (Acute Dermal Toxicity)
キュメンヒドロパーオキサイド（1-メチル-1-フェニルエチルヒドロパーオキシド）	Acute toxicity estimate (ATE)	1,100 mg/kg		専門家の判断
ポリエチレングリコールモノメタクリレート	Acute toxicity estimate (ATE)	> 5,000 mg/kg		専門家の判断
N,N-ジエチル-p-トルイジン	Acute toxicity estimate (ATE)	300 mg/kg		専門家の判断
N,N-ジメチル-o-トルイジン	Acute toxicity estimate (ATE)	300 mg/kg		専門家の判断

ヘンケルジャパン株式会社

**急性毒性（吸入）：**

混合物は、混合物に存在する分類された物質を基に分類する計算方法に基づいて分類されている。

有害物質	値型	値	試験環境	ばく露時間	種	試験方法
二酸化ケイ素（アモルファス）	LC0	0.139 mg/l		4 h	ラット	指定されていません
キュメンヒドロパーオキシド（1-メチル-1-フェニルエチルヒドロパーオキシド）	LC50	1.370 mg/l	蒸気	4 h	ラット	指定されていません
キュメンヒドロパーオキシド（1-メチル-1-フェニルエチルヒドロパーオキシド）	LC50	1.245 mg/l	蒸気	4 h	ラット	評価計算
ポリエチレングリコールモノメタクリレート	Acute toxicity estimate (ATE)	> 5 mg/l	粉じん及びミスト			専門家の判断
N,N-ジエチル-p-トルイジン	Acute toxicity estimate (ATE)	3 mg/l	蒸気			専門家の判断
N,N-ジメチル-o-トルイジン	Acute toxicity estimate (ATE)	0.5 mg/l	粉じん及びミスト	4 h		専門家の判断

**皮膚腐食性／刺激性：**

混合物は、混合物に存在する分類された物質を基に分類する計算方法に基づいて分類されている。

有害物質	結果	ばく露時間	種	試験方法
二酸化ケイ素（アモルファス）	刺激性なし	4 h	ウサギ	OECD Guideline 404 (Acute Dermal Irritation / Corrosion)
キュメンヒドロパーオキシド（1-メチル-1-フェニルエチルヒドロパーオキシド）	corrosive		ウサギ	Draize test
N,N-ジエチル-p-トルイジン	刺激性	4 h	ウサギ	OECD Guideline 404 (Acute Dermal Irritation / Corrosion)

**眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性：**

混合物は、混合物に存在する分類された物質を基に分類する計算方法に基づいて分類されている。

有害物質	結果	ばく露時間	種	試験方法
二酸化ケイ素（アモルファス）	刺激性なし		ウサギ	OECD Guideline 405 (Acute Eye Irritation / Corrosion)

**呼吸器又は皮膚感作性：**

データなし

ヘンケルジャパン株式会社

**生殖細胞変異原性:**

混合物は、混合物に存在する分類された物質の閾値を基に分類されている。

有害物質	結果	試験項目/管理経路	代謝活性化/ばく露時間	種	試験方法
二酸化ケイ素 (アモルファス)	陰性	bacterial reverse mutation assay (e.g Ames test)			指定されていません
二酸化ケイ素 (アモルファス)	陰性	in vitro mammalian chromosome aberration test			指定されていません
二酸化ケイ素 (アモルファス)	陰性	DNA damage and repair assay, UDS in mammalian cells in vitro			指定されていません
キュメンヒドロパーオキシド (1-メチル-1-フェニルエチルヒドロパーオキシド)	陽性	bacterial reverse mutation assay (e.g Ames test)	without		OECD Guideline 471 (Bacterial Reverse Mutation Assay)

**発がん性**

データなし

**生殖毒性**

データなし

**特定標的臓器毒性 (単回ばく露):**

データなし

**特定標的臓器毒性 (反復ばく露):**

混合物は、混合物に存在する分類された物質の閾値を基に分類されている。

有害物質	結果/値	ばく露経路	ばく露時間/処理頻度	種	試験方法
キュメンヒドロパーオキシド (1-メチル-1-フェニルエチルヒドロパーオキシド)		inhalation : aerosol	6 h/d 5 d/w	ラット	指定されていません

**誤えん有害性:**

データなし

ヘンケルジャパン株式会社

## 12. 環境影響情報

### 一般環境有害性情報:

下水管/地表水/地下水中に捨てないこと。

### 12.1. 生態毒性

#### 毒性（魚）:

混合物は、混合物に存在する分類された物質を基に分類する計算方法に基づいて分類されている。

有害物質	値型	値	ばく露時間	種	試験方法
二酸化ケイ素（アモルファス）	LC50	> 10,000 mg/l	96 h	Brachydanio rerio (new name: Danio rerio)	OECD Guideline 203 (Fish, Acute Toxicity Test)
キュメンヒドロパーオキシライド（1-メチル-1-フェニルエチルヒドロパーオキシド）	LC50	3.9 mg/l	96 h	Oncorhynchus mykiss	OECD Guideline 203 (Fish, Acute Toxicity Test)
ポリエチレングリコールモノメタクリレート	LC50	> 10 - 100 mg/l	96 h	指定されていません	OECD Guideline 203 (Fish, Acute Toxicity Test)
N,N-ジエチル-p-トルイジン	LC50	78.62 mg/l	96 h	Danio rerio	OECD Guideline 203 (Fish, Acute Toxicity Test)
N,N-ジメチル-o-トルイジン	LC50	46 mg/l	96 h	Pimephales promelas	OECD Guideline 203 (Fish, Acute Toxicity Test)

#### 毒性（ミジンコ）:

混合物は、混合物に存在する分類された物質を基に分類する計算方法に基づいて分類されている。

有害物質	値型	値	ばく露時間	種	試験方法
キュメンヒドロパーオキシライド（1-メチル-1-フェニルエチルヒドロパーオキシド）	EC50	18.84 mg/l	48 h	Daphnia magna	OECD Guideline 202 (Daphnia sp. Acute Immobilisation Test)
N,N-ジエチル-p-トルイジン	EC50	10.34 mg/l	48 h	Daphnia magna	OECD Guideline 202 (Daphnia sp. Acute Immobilisation Test)

#### 水生無脊椎動物に対する慢性毒性:

データなし

#### 毒性（藻類）:

ヘンケルジャパン株式会社

混合物は、混合物に存在する分類された物質を基に分類する計算方法に基づいて分類されている。

有害物質	値型	値	ばく露時間	種	試験方法
キュメンヒドロパーオキシド (1-メチル-1-フェニルエチルヒドロパーオキシド)	EC50	3.1 mg/l	72 h	Desmodesmus subspicatus (reported as Scenedesmus subspicatus)	OECD Guideline 201 (Alga, Growth Inhibition Test)
キュメンヒドロパーオキシド (1-メチル-1-フェニルエチルヒドロパーオキシド)	NOEC	1 mg/l	72 h	Desmodesmus subspicatus (reported as Scenedesmus subspicatus)	OECD Guideline 201 (Alga, Growth Inhibition Test)
N, N-ジエチル-p-トルイジン	EC50	23.69 mg/l	72 h	Raphidocelis subcapitata (new name: Pseudokirchneriella subcapitata)	OECD Guideline 201 (Alga, Growth Inhibition Test)

**微生物に対する毒性:**

混合物は、混合物に存在する分類された物質を基に分類する計算方法に基づいて分類されている。

有害物質	値型	値	ばく露時間	種	試験方法
キュメンヒドロパーオキシド (1-メチル-1-フェニルエチルヒドロパーオキシド)	EC10	70 mg/l	30 min	指定されていません	指定されていません

**12.2. 残留性と分解性**

有害物質	結果	テストタイプ	分解性	ばく露時間	試験方法
キュメンヒドロパーオキシド (1-メチル-1-フェニルエチルヒドロパーオキシド)	容易に生分解されていません。	aerobic	3 %	28 d	OECD Guideline 301 B (Ready Biodegradability: CO2 Evolution Test)
ポリエチレングリコールモノメタクリレート	readily biodegradable		> 60 %	28 day	OECD 301 A - F
N, N-ジエチル-p-トルイジン	容易に生分解されていません。	指定されていません	1 %	28 day	OECD Guideline 301 C (Ready Biodegradability: Modified MITI Test (I))
N, N-ジメチル-o-トルイジン	容易に生分解されていません。	aerobic	1 %	14 d	other guideline:

**12.3. 生態蓄積性**

有害物質	生物濃縮係数	ばく露時間	温度	種	試験方法
キュメンヒドロパーオキシド (1-メチル-1-フェニルエチルヒドロパーオキシド)	9.1			計算	OECD Guideline 305 (Bioconcentration: Flow-through Fish Test)

**12.4. 土壌中の移動性**

ヘンケルジャパン株式会社

有害物質	LogPow	温度	試験方法
キュメンヒドロパーオキシ イド (1-メチル-1-フェニ ルエチルヒドロパーオキシ ド)	1.6	25 ° C	OECD Guideline 117 (Partition Coefficient (n-octanol / water), HPLC Method)
N,N-ジエチル-p-トルイジ ン	3.7		QSAR (Quantitative Structure Activity Relationship)

#### 12.5. PBTおよびvPvB評価の結果

この混合物には、PBTまたはvPvBと評価される物質は含まれていません。

#### 12.6. 他の有害影響

データなし

### 13. 廃棄上の注意

#### 推奨廃棄方法:

国及び地方自治体の規則に従って廃棄すること。  
この製品の廃棄物への寄与は、それが使用される物品と比較して微少である。

#### 汚染容器包装の廃棄方法:

使用後は、残留物の付着したチューブ、箱、ボトル は化学汚染物質として公認  
された埋め地に処理するか焼却する。  
廃棄処理は必ず法規制に従って行うこと。

### 14. 輸送上の注意

Marine transport IMDG:

危険物には該当しない。

Air transport IATA:

危険物には該当しない。

#### 国内輸送規制:

陸上輸送: 消防法、労働安全衛生法、毒劇物法等に該当する場合は定められている運送方法に従う。

海上輸送: 船舶安全法に定められている運送方法に従う。

航空輸送: 航空法に定められている運送方法に従う。

## 15. 適用法令

### 労働安全衛生法 :

名称等を通知すべき有害物	キュメンヒドロパーオキシド (1-メチル-1-フェニルエチルヒドロパーオキシド)
名称等を表示すべき有害物	キュメンヒドロパーオキシド (1-メチル-1-フェニルエチルヒドロパーオキシド)
特定化学物質第1類物質	該当なし
特定化学物質第2類物質	該当なし
特定化学物質第3類物質	該当なし
特定化学物質特別管理物質	該当なし
第1種有機溶剤等	該当なし
第2種有機溶剤等	該当なし
第3種有機溶剤等	該当なし
変異原性が認められた既存化学物質	キュメンヒドロパーオキシド (1-メチル-1-フェニルエチルヒドロパーオキシド)
変異原性が認められた届出物質	該当なし
がん原性物質 (ISHL 第 57-1、 57-2 および 57-3条、施行規則条項 第 577-2-3条)	該当なし
皮膚等障害化学物質等	キュメンヒドロパーオキシド (1-メチル-1-フェニルエチルヒドロパーオキシド)

### 消防法

第4類引火性液体, 第4類 第3石油類(非水溶性)

### 毒物及び劇物取締法 :

該当しない

### 化学物質排出把握管理促進法 (PRTR 法) :

(含有率表示は代表値)

(含有率単位が%0の場合 %0=1/10%)

第二種指定化学物質	キュメンヒドロパーオキシド (1-メチル-1-フェニルエチルヒドロパーオキシド)	2.66%	管理番号: 440
-----------	--	-------	-----------

## 16. その他の情報

発行日: 20.04.2025

### 注意:

この安全性データシートは日本産業規格 (JIS: Z 7253) に基づいて作成しており、日本の法律にのみ則った情報を提供しております。他の管轄地域又は国の実体法または輸出法に関しては、いかなる種類の表明又は保証も行いません。ここに提供している情報が他の管轄地域の実質的な輸出又はその他の法令に準拠していることを輸出前に確認して下さい。ご不明な点がございましたらHenkel Product Safety and Regulatory Affairsにお問い合わせ下さい。

この情報は現況での化学的根拠と発送された製品の状況を元に作成したものである。またこれは安全を説明するための情報で、製品の特性を保証するものではない。

ここに表明したデータは信頼性があると考えられるが単に情報として挙げただけである。Henkel社のコントロールが及ばない人々が得た結果については責任を持たない。Henkel製品の適切性、特定目的で使用する際の製造方法、Henkel社製品の取扱いや使用に関わる危険性から人や資産を守るための予防処置などの見極めはユーザーの責任の元行われるべきである。以上の説明の元、Henkel社は、明示・暗示に関わらず、特定用途に対する市場性・適切性を含み、製品の販売・使用に関わるすべての保障への責任を拒否する。更にHenkel社は、損益を含むいかなる2次的・偶発的損害についての責任も拒否する。